

地方共助社会づくり懇談会in福島

～福島の復興に向けた市民活動の動向～

事例紹介

平成26年11月8日(土)



NPOと
ふゆら土2100

団体概要

■名称 特定非営利活動法人ふよう土2100

■代表者名 理事長 里見喜生

■所在地

・〒971-8054 いわき市湘南台1丁目10-6

■事業所所在地

・交流サロンひかり

〒963-0201 郡山市大槻町字室ノ木北30-5-18

TEL&FAX024-983-1860

・ひかり相談室

〒963-8875 郡山市池ノ台20-23

TEL024-983-7642 FAX024-983-7643

■設立 2011年8月24日

■法人登記 2011年11月17日

NPO設立以前・いわきフラオンパク

「地域の輝き」を探そう！
「あるもの活かし」の大切さ
そこに人が居るから「共感」が生まれる
持続可能な地域づくり



団体ミッション・ビジョン

2011年に大震災を当事者として経験し、わかったこと。
地域コミュニティと環境共生が未来づくりで一番大切であると確信しました。

- ・東日本大震災の被災者に対する復興支援
- ・子育て支援、障がい者支援に関わること
- ・被災地の現状を学習してもらうためのコーディネートなどの活動を通し、



団体ビジョン

2100年に福島県で生まれた子どもたちが安心して暮らせるより幸せな地域をつくること



NPOと
ふゆら土2100

団体ミッション

西暦2100年、未来の子供たちのためにいまできること
それは私たちが有機腐葉土になることによって、
～100年後の未来が地域を愛する人で
あふれかえるような地域にすること～

事業内容

■ 私たちNPO法人ふよう土2100は、「東日本大震災の被災者に対する復興支援事業」および「子育て支援・障がい者支援に関わる事業」を中心に活動しています。

・東日本大震災の被災者に対する復興支援事業

被災地域の記録活動事業
「浜風商店街」の出版

全日本社会貢献団体機構助成事業「ほのぼの温泉プロジェクト」の実施

じゃんがら念仏踊り継承育成事業など

・体験交流型復興支援事業スタディプログラムの実施

・子育て支援、障がい者支援に関わる事業

障がい児の被災者家族のためのサポート事業

「交流サロンひかり」および「ひかり相談室」の運営管理

・東日本大震災の被災者に対する復興支援事業



2011年実施ほのぼの温泉プロジェクト



2012年に制作した「浜風商店街」



じゃんがら念仏踊り継承育成事業

・交流体験型復興支援事業スタディツアーの実施



被災地・福島のいまの現状を全国に発信しています。



・子育て支援、障がい者支援に関わる事業



「交流サロンひかり」の運営・管理、交流会や講演会を実施しています

主な活動①体験交流型復興支援事業スタディプログラム

来ていただくことで、地元の元気が出る

震災後、変化して行く福島のありのままの姿を見てほしい、感じて欲しい

被災体験を話したい人はいるが、話す場が少ない

復興への新たな取り組みを見てほしい、参加して欲しい

- ・2011年 震災直後から全国から集まるボランティアを被災現場に案内しガイドする活動を開始
- ・2012年10月～2013年9月まで福島県委託事業「被災地域受入体制整備事業」を受託
- ・2013年10月より委託事業から自主事業へ移行。

平成25年度は、被災地支援に関心がある太平洋諸国の外国人記者をはじめ企業・団体・自治体・議会などの視察行程等のコーディネート役を務め、延べ2,500人の訪問者に加えて、ボランティアや大学生延べ500人、合計延べ3,000人を案内してきた。首都圏を中心に北海道から沖縄まで全国各地から参加。首都圏以外では愛知県・広島県からの参加者が目立つ。



スタディツプログラムの内容

◆ 基本コース（所要時間：4時間）◆

- 10:30 いわき湯本温泉・古滝屋集合
ガイドによるプログラムに関する説明
- 10:45 古滝屋出発
いわき湯本I.C.より常磐道で北上
- 11:30 広野I.C.から檜葉町経由で原
発20km圏内へ
- 12:00 JR富岡駅～国道6号南下
富岡町－檜葉町－広野町
- 12:45 いわき市久之浜地区へ
- 13:00 久之浜復興商店街「浜風商店
街」訪問
- 14:00 「浜風商店街」出発
- 14:30 古滝屋到着 ツアー終了



ネットワーク強化のための取り組み

- ・2012年9月にいわき市のNPO法人ザ・ピープルとNPO法人インディアンビレッジキャンプとコンソーシアム「いわき・おてんとSUNプロジェクト」を結成し、総務省緑の分権改革・被災地復興モデル事業「市民によるサスエ創出プロジェクト」を展開。
- ・その後、いわきおてんとSUN企業組合を立ち上げ、地域住民、避難移住者、農家、事業者、地域づくり団体、NPO、首都圏ボランティア、そして自治体など、様々な人と人の輪をつなぎながら、オーガニックコットン、復興スタディツアーから自然エネルギーまで、市民が主体となった希望のまちづくりにチャレンジしています。



主な活動②-1障がい児の被災者家族の支援プロジェクト

利用者が多いとパニックになりやすい

自閉症やアスペルガー症候群の子どもたちを放課後、預かる事業所が限られている

預けられても希望する曜日に利用できない

避難した双葉地方の障がい者家族はなおさら利用できない

「交流サロンひかり」2012年5月開設

- ・自閉症や聴覚障がいなど障がいの種類に問わず子供たちが安心して過ごせる場所を提供。放課後一時預かりサービスや日中移動支援の実施。
- ・障がい者家族むけのサポート事業を展開。家族が本音を語り合える駆け込み寺的な存在に。支援相談会や療育講習会等を定期的に開催。



主な活動②-2障がい児の被災者家族の支援プロジェクト

余暇の過ごし方が分からない

就労するまで面倒は見てもらえるけど、仕事の悩みを相談できる場所がない

障がい児にもみんなと同じく楽しいを経験させたい

公共交通機関の利用の仕方が分からない

「ひかり相談室」2014年4月開設

- ・自閉症や発達障害、脳性まひなどの障がい者の余暇活支援動や社会生活技能講習会やパソコン講習会、就労支援等を実施。
- ・小中学生を対象にした学習支援も実施。



支援者を増やすためにWEBページによる情報発信の強化

お問い合わせ/寄付時期 9:00~18:00 ☎024-983-1860
 いわき市 〒971-8152 福島県いわき市湖南台一丁目10番地-6
 MAP <郡山市> 〒963-0201 福島県郡山市大槻町室ノ木北30-5

トップページ Home ご寄付/会員登録 Appli 活動内容 Activity 団体概要 Guide お問い合わせ Contact

100年後の未来が地域を愛する人であふれかえるような地域に

ふよう土2100 交流サロンひかり STUDY TOUR
 実際に体験してこそ、分かる

● 復興支援・障がい児支援のため、寄付をお願いします。
 ふくしまの子どもたちの為にあなたにもできることがあります。 詳しくはこちらへ

STUDY TOUR JR in 福島県 いわき市
 知って、感じて、考える この思い 未来へ

Facebook いいね! 198 ツイート 24 代表BLOG 申込

トップ STUDY TOURとは ガイド 参加者の声 いわき市の事 ふよう土2100とは お問い合わせ

福島を"今"を感じる

What's New
 2014年6月10日
 「STUDYTOUR」を更新しました。
 2014年4月29日
 「STUDYTOUR」ガイドを更新しました。
 2013年5月17日
 NPOふよう土2100 スタディーツアーのウェブサイトがオープンしました。

- ・日々の活動状況をCANPANブログで毎日更新
- ・県外の方々が福島の情報収集のためにアクセスしてくれる。多い時には1日2,000PVを記録

↓
 支援者が広がり寄付金の増加
 2013年度 2,077,1633円
 2014年度(9月末現在)3,194,023円

NPO法人ふよう土2100のままぶり活動日記

ジャンププラットフォーム 第18次...
 おはようございます。4月から就労後援サービス事業を立ち上げるため、...

キワファンチャレンジも振り返り...
 10月1日からのキワファンチャレンジからちよど振り返り...地点、参加23団体中...

10月22日(水)も受付中です
 午前中の更新で、10月19日(日)の募集案内をしましたが、22日(水)も募...

10月20日(月)療育講習会を開催します
 交流サロンのひかりでは、10月20日(月)に公益財団法人東日本大震災復興支援...

10月19日(日)参加者受付中
 おはようございます。今日の日曜日、午後1時半集合で実施するプログラム。定...

職員募集中です！シェア-拡散歓迎
 おはようございます。台風19号明けの朝。普相は小中学生の通学路のこの場所...

E-チャレンジ終了まであと19...
 今月、参加している「第三回E-ファンドレイジング・チャレンジ2014」。...

本日、立教大学で里見が講演します
 おはようございます。3連休の真ん中。台風19号の影響が心配されます。本日...

特定非営利活動法人ふよう土2100
 あなたが「いいね!」と書いています。
 あなたと他823人が特定非営利活動法人ふよう土2100について「いいね!」と書いています。

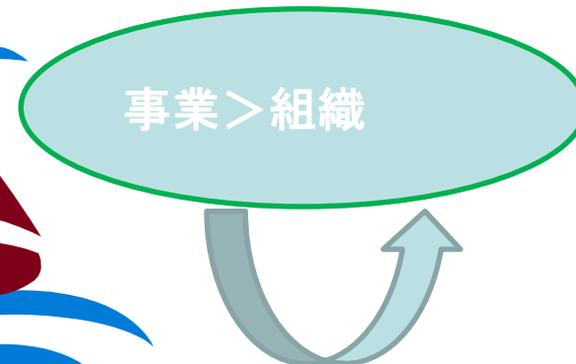
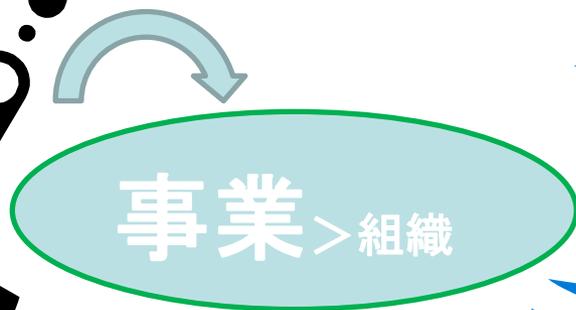
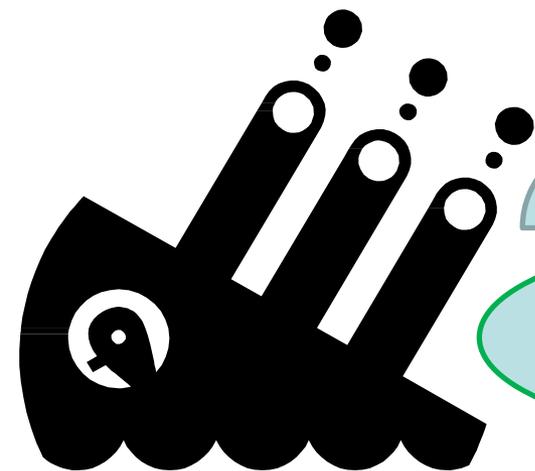
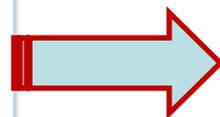
団体の変化

設立時

- ・会員メンバーの得意分野で様々なニーズに応じて、多彩な支援事業を展開
- ・活動資金不足のため、多くの助成事業に申請書を提出。助成金頼みの運営体制。
- ・活動人数が限られているのに事業が多い。

現在

- ・ミッションやビジョンとマッチした事業であるかが大前提に立った活動なのでブレが少ない。
- ・3年間の活動を通して、助成団体との信頼関係を構築。ネットワーク強化による相互の情報交流が活発に。
- ・助成事業のウェイトは高いものの、自主財源も増えている。



中長期的に活動を継続していくために

課題

- ・県外の活動団体数が減少



地元NPOへ高まる期待に応えることができるか？

- ・民間の助成金は年々減少

↓【震災枠の激減】

活動継続のためにどうやって自主財源を確保していくか？

- ・人材の確保

↓【2020年東京五輪】

福島復興活動に関心が高い人々の心をどうつなぎ止めていくか？

課題解決のために……

私たちがチャレンジしていくこと

- ・信頼される地元NPOになるために……

福島県で子ども支援に取り組む

NPOに寄付をしたいけど、どこがいいの？



財務内容など情報開示の徹底、活動内容を毎日WEBで発信することによって、寄付しても大丈夫、会員になって応援しても大丈夫と思われるNPOに

- ・自主財源を確保していくために……

↓【助成事業中心から自主事業強化】

平成27年より放課後等ディサービス事業を開始
ミッションに沿い、子ども支援・障がい者支援に集中

- ・ビジョン・ミッションを共有できる人材を確保するために……



県内のみならず福島の子どもの未来のために活動できる同志をソーシャルメディアを活用し、広げていく。



私たちが2100年まで目指していく社会

- ・超少子高齢化による若者減少



地域づくりのキーワードは
高齢者と障がい者がどれだけ地域づくりに参加できるか。

- ・社会活動に参加する障がい者が増加



健全者と障がい者が何も気兼ねなく一緒に暮らせるコミュニティの形成



だれでも暮らしやすい社会づくりの実現



発達障がいや自閉症に対する地域や社会での理解者あふれる街に



障がい者が安心してすごせる場所が広がっていく

ご清聴ありがとうございます！

NPO法人ふよう士2100

副理事長 大澤康泰